

生物多様性 近刊
子どもたちにどう伝えるか



阿部健一 編

生物多様性 どう生かすか
最新刊
保全・利用・分配を考える



山村則男 編

地球研叢書

地球環境問題を根源からとらえるシリーズ

*地球研は総合地球環境学研究所の略称で、2001年、京都に創設されました。大学共同利用機関法人・人間文化研究機構の一機関として、地球環境問題を根本からとらえて研究しています。この叢書は地球研の研究成果をわかりやすく紹介するものです。

水と人の未来可能性
しのびよる水危機



総合地球環境学研究所 編

モノの越境と地球環境問題
グローバル化時代の(地産地消)



窪田順平 編

安定同位体というメガネ
人と環境のつながりを診る



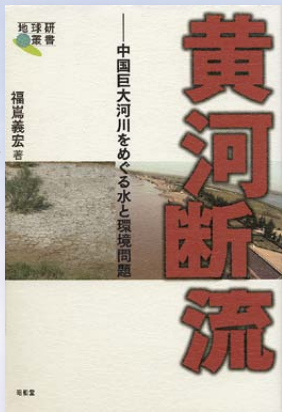
和田英太郎・神松幸弘 編

魚附林の地球環境学
親潮・オホーツク海を育むアムール川



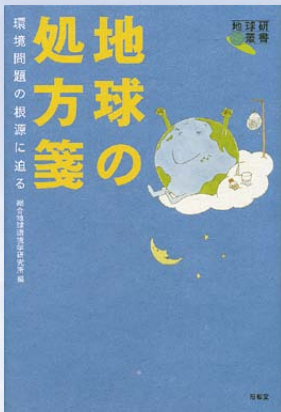
白岩孝行 著

黄河断流
中国巨大河川をめぐる水と環境問題



福嶋義宏 著

地球の処方箋
地球環境問題の根源に迫る



総合地球環境学研究所 編

食卓から地球環境がみえる
食と農の持続可能性



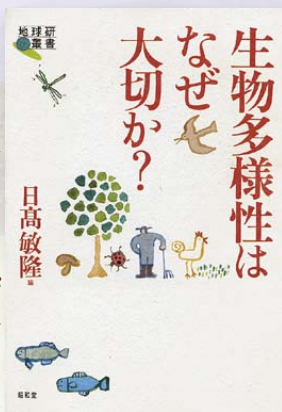
湯本貴和 編

地球温暖化と農業
地域の食料生産はどうなるのか?



渡邊紹裕 編

生物多様性はなぜ大切か?
日高敏隆



日高敏隆 編

中国の環境政策 生態移民
緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか?



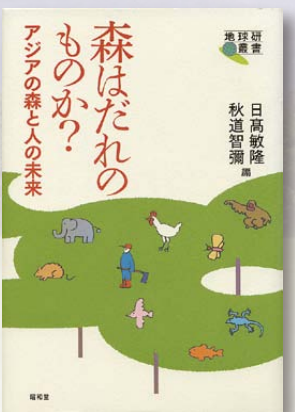
小長谷有紀・シンジルト・中尾正義 編

シルクロードの水と緑は
どこへ消えたか?



日高敏隆・中尾正義 編

森はだれのものか?
アジアの森と人の未来



日高敏隆・秋道智彌 編

生物多様性 どう生かすか——保全・利用・分配を考える 山村則男 編 最新刊

- 目次
はじめに (山村則男)
第1章 生物多様性とは何か——暮らしに生きる自然 (岡安直比)
第2章 生物多様性条約とは何か——科学と政治のあいだ (香坂玲)
第3章 生物多様性は生かされているか——食卓から考える (佐藤洋一郎)
第4章 生物多様性は生かされてきたか——持続的利用と破綻の歴史 (湯本貴和)
第5章 生物多様性を守るために——遺伝資源利用による利益の衡平で公正な配分 (大沼あゆみ)

四六判 上製 192頁 ISBN978-4-8122-1145-8 定価 2310円

生物多様性 子どもたちにどう伝えるか 阿部健一 編 近刊

- 目次
第1章 生物多様性の伝え方——科学と文化 (阿部健一)
第2章 生物多様性はどう接していますか (辻野亮)
第3章 生物多様性を受け入れる生き方、考え方とは (神松幸弘)
第4章 生きものの個体を追跡してみると…… (依田憲)
第5章 子どもたちの幸せのために、里山をとおして何を伝えるか (夏原由博)
第6章 森の実践から学ぶ生物多様性の保全 (横山智)

四六判 上製 160頁 ISBN978-4-8122-1119-9 定価 2310円

魚附林の地球環境学——親潮・オホーツク海を育むアムール川 白岩孝行 著

- 目次
第1章 豊穡の海
第2章 鉄不足にあえぐ海
第3章 国際チームをつくる
第4章 フィールドワークを取り巻くさまざまな問題
第5章 ひとつの仮説
第6章 大気から来る鉄は重要か
第7章 アムールリマンの謎
第8章 鉄を生み出す湿原
第9章 アムール川流域の土地利用変化とその背景
第10章 数値モデルが語る鉄の未来
第11章 魚附林と巨大魚附林
第12章 アムール・オホーツクコンソーシアムの設立へ
第13章 平和環境圏構築と大学からの挑戦

四六判 上製 カラー2頁+240頁 ISBN987-4-8122-1118-2 定価 2415円

安定同位体というメガネ——人と環境のつながりを診る 和田英太郎・神松幸弘 編

- 目次
序章 安定同位体って何？ (神松幸弘)
第1章 生き物同士のつながりを診る——アミノ酸の窒素同位体比を用いて (大河内直彦他)
第2章 気候と社会の歴史を診る——樹木年輪の酸素同位体比からの解読 (中塚武)
第3章 地球環境のトレーサビリティ (中野孝教)
第4章 環境診断学の誕生 (和田英太郎)

四六判 上製 180頁 ISBN978-4-8122-1017-8 定価 2310円

モノの越境と地球環境問題——グローバル化時代の〈知産知消〉 窪田順平 編

- 目次
前口上——もうひとつの地球環境問題入門 (立本成文)
序章 モノがなくなぐ地域と地球 (窪田順平)
第1章 食料——エビの風景 (村井吉敬)
第2章 木材——アムール川の棲む森はいま (山根正伸)
第3章 水——日本に輸入される大量の「仮想水」 (窪田順平)
第4章 廃棄物——ごみの行方を追う (寺園淳)
第5章 感染症——この不安をどう乗り越えるか？ (門司和彦)
第6章 地産地消から知産知消へ——つながりという「関係価値」 (阿部健一)

四六判 上製 224頁 ISBN978-4-8122-0933-2 定価 2415円

水と人の未来可能性——しのびよる水危機 総合地球環境学研究所 編

- 目次
はじめに (立本成文)
第1章 人と水の関係史 (佐藤洋一郎)
第2章 水を利する——水をあやつる知恵 (渡邊紹裕)
第3章 生態系を巡回する水 (湯本貴和)
第4章 見えない水をはかる (谷口真人)
第5章 水はだれのものか——水の協治と生態史の構築にむけて (秋道智彌)

四六判 上製 196頁 ISBN978-4-8122-0922-6 定価 2415円

図書出版 **昭和堂** 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前
TEL 075-706-8838 (営業) FAX 075-706-8878
http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/
表示価格は5%税込

お申し込みはお近くの書店様へお願いいたします。

地球温暖化と農業——地域の食料生産はどうなるのか？ 渡邊紹裕 編

- 目次
はじめに (立本成文)
序章 地球温暖化で農業はどうなるのか (渡邊紹裕)
第1章 地球温暖化で地域の気候はどうなるのか (木村富士男)
第2章 地球温暖化で水循環はどうなるのか (長野宇規)
第3章 地球温暖化で作物の生育はどうなるのか——コメとムギ (中川博視)
第4章 地球温暖化で穀物の需給はどうなるのか (辻井博)
第5章 地球温暖化と農業のこれから (渡邊紹裕)

四六判 上製 カラー4頁+240頁 ISBN978-4-8122-0829-8 定価 2415円

食卓から地球環境がみえる——食と農の持続可能性 湯本貴和 編

- 目次
第1章 人間にとってのおいしさ (伏木亨)
第2章 日本列島に住む人々は何を食べてきたか (湯本貴和・米田穰)
第3章 日本の食卓はいま (佐藤洋一郎)
第4章 「食」の現状——人類史上の位置 (秋道智彌)
第5章 農業・漁業の持続可能性を問う (嘉田良平)

四六判 上製 168頁 ISBN978-4-8122-0813-7 定価 2310円

地球の処方箋——環境問題の根源に迫る 総合地球環境学研究所 編

- 目次
第I部 環境史・文明
第II部 食・資源
第III部 多様性
第IV部 循環

四六判 上製 224頁 ISBN978-4-8122-0816-8 定価 2415円

黄河断流——中国巨大河川をめぐる水と環境問題 福嶋義宏 著

- 目次
第I部 黄河に何が起こったか？
第II部 黄河断流はどのように起こったのか？
第III部 「黄河断流」からみた地球環境問題
終章 「黄河断流」の意味するもの

四六判 上製 カラー4頁+202頁 ISBN978-4-8122-0775-8 定価 2415円

森はだれのものか？——アジアの森と人の未来 日高敏隆・秋道智彌 編

- 目次
はじめに (日高敏隆)
序章 森と人の生態史 (秋道智彌)
第1章 森の一万年史から (湯本貴和)
第2章 ボルネオ・イバン人の「里山」利用の変化と日本とのかかわり (市川昌広)
第3章 ボルネオ熱帯雨林ランビルの林冠でみえたこと (酒井章子)
第4章 だれのための森か (阿部健一)
第5章 「協治」の思想で森とかわる (井上真)
第6章 世界の森の現状からみた地球未来 (山田勇)

四六判 上製 カラー4頁+200頁 ISBN978-4-8122-0708-6 定価 2415円

シルクロードの水と緑はどこへ消えたか？ 日高敏隆・中尾正義 編

- 目次
はじめに (日高敏隆)
第1章 タクラマカン砂漠は緑だった……？ (井上隆史)
第2章 来る水、行く水——オアシスをめぐる水の循環 (中尾正義)
第3章 オアシスの盛衰と現代の水問題 (中尾正義)
第4章 砂漠化は地球環境に何をもたらすのか？ (中野孝教)
第5章 シルクロードから消えた水と世界水危機 (鼎信次郎)
コラム 心の水を考える (小野浩)

四六判 上製 カラー4頁+212頁 ISBN978-4-8122-0625-6 定価 2520円

中国の環境政策 生態移民——緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか？ 小長谷有紀・シンジルト・中尾正義 編

- 目次
序章 中国西部辺境と「生態移民」
第I部 生態的側面を問う——「生態移民」は環境保全を果たせるか？
第II部 経済的側面を問う——「生態移民」は貧困削減を果たせるか？
第III部 文化的側面を問う——「生態移民」はいかなる文化変容をもたらすか？
終章 地球環境問題と「生態移民」

四六判 上製 328頁 ISBN978-4-8122-0523-5 定価 2940円

生物多様性はなぜ大切か？ 日高敏隆 編

- 目次
第1章 生物多様性とはなんだろう？ (中静透)
第2章 「雑食動物」人間 (日高敏隆)
第3章 遺伝子からみた多様性と人間の特徴 (川本芳)
第4章 文化の多様性は必要か？ (内山純蔵)
第5章 生活のなかの生物多様性 (佐藤洋一郎)

四六判 上製 192頁 ISBN978-4-8122-0506-8 定価 2415円